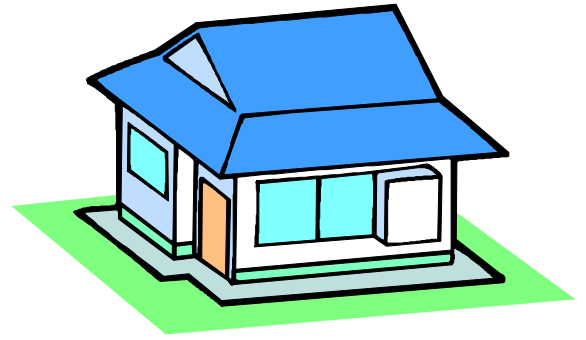


ルーフトン



◆ **系統**

合成樹脂塗料

◆ **特長**

はけ塗り作業性がよく、手軽に塗装できます。
肉持ち感があり、よい仕上がりが得られます。
塗膜は強靱で密着性にすぐれています。
鉛顔料を一切使用していません。

◆ **用途**

屋根・カラー鋼板の塗り替え

◆ **色**

赤錆・さび・レンガ・コーヒブラウン・
コーヒブラック・グレー・シルバー・
ナイトブルー・デープルー・フレッシュグリーン・
ロイヤルグリーン・オレンジ・新クリーム・
ベージュ

◆ **容量**

14 ・ 3

◆ **標準塗付量**

90 ~ 110 g / m²

◆ **乾燥時間**

	5	20	30
指触乾燥(時間)	10	5	4
硬化乾燥(時間)	24	8	6
塗装間隔(時間以上)	48	24	16

◆ **使用できる主な下塗り塗料**

ネオプラマイルド

◆ **塗料性状 (赤錆)**

消防法危険物区分	指定可燃物
有機溶剤中毒予防規則区分	第三種有機溶剤等
労働安全衛生法有害物表示	なし
毒物及び劇物取締法による表示	なし
密度 (g / c m ³ / 23)	1.21
加熱残分 (%)	72
引火点 ()	43
発火点 ()	288

◆ **試験成績表 (赤錆)**

項目	試験条件	結果
容器の中での状態	かき混ぜたとき、硬い塊がなくて一樣になるものとする。	合格
塗装作業性	はけ塗りで塗装作業に支障があってはならない。	合格
乾燥時間 h (表面乾燥性)	8 以下	8
塗膜の外観	塗膜の外観が正常であるものとする。	合格
鏡面光沢度 (60 度)	80 以上	85
重ね塗り適合性	重ね塗りに支障があってはならない。	合格
加熱残分 %	65 以上	72
促進耐候性 (キセノンランプ法)	通算 240 時間照射で、膨れ・割れ及びはがれの等級は 0 であり、色とつやの変化の程度が見本品に比べ大きくないものとする。	合格
屋外暴露耐候性	1 年間の試験で、膨れ・はがれ及び割れがなく、色とつやの変化の程度が見本品に比べて大きくないものとする。	合格

◆ 標準塗装仕様書 (塗り替え)

工程	塗料名	塗装方法	希釈率 (質量%)	塗付量 (g/m ²)	乾燥膜厚 (μm)	塗装間隔 (時間以上)
1	素地調整	さび、劣化した塗膜はサンダー、ワイヤーホイールなどで入念に取り除いたのち、全面にわたってサンドペーパー、スコッチブライト、ワイヤーブラシなどで、丁寧にこすって、ごみ、汚れ、油分などを除去し清掃してください。				
2	補修塗り	下塗り塗料で発錆部を拾い塗りしてください。				
3	下塗り	ネオプラマイルド (塗料用シンナー)	はけ・ローラー エアレス 5～10 10～20	120 160	30	4
4	上塗り	ルーフトン (塗料用シンナー)	はけ・ローラー エアレス 5～10 10～20	90 110	30	24
5	上塗り	ルーフトン (塗料用シンナー)	はけ・ローラー エアレス 5～10 10～20	90 110	30	

施工上の注意

1. 施工時は、飛散防止のための養生を行ってください。特にエアレス塗装の場合は、塗料ミストが広範囲に飛散するおそれがありますので、十分な養生を行ってください。
2. タンの継ぎ目・折り曲げ部分は膜厚が薄くなる可能性がありますので、あらかじめ拾い塗りを行うことをおすすめします。
3. 塗装後、塗膜が未乾燥時に霧・夜露に当たる時間帯や、昼夜の温度差が大きい時期は、結露によるつや引け現象が起こりやすいため時間を考慮した施工を行ってください。
4. タン板などで垂鉛めっきの目付け量によっては、下塗り塗料との密着が悪い場合があります。
5. 新しいタン板の場合は、3～4ヶ月屋外放置の後に、表面光沢が低下してから塗装してください。

取扱い及び保管上の注意

1. 取扱い作業場所は火気のないところでいい、屋内作業場所では局所排気装置を設けてください。
2. 塗装中、作業中ともに換気をよくし、蒸気を吸い込まないようにしてください。
3. 取扱い中は、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて、有機ガス用防毒マスクをつけ、さらに頭巾・保護メガネ・えり巻きタオル・保護手袋などをしてください。
4. 取扱い後は、手洗い及びうがいを十分に行ってください。
5. よくフタをし、40 以下で子どもの手の届かない一定の場所に保管してください。
6. 缶の持ち運びの際には、手環はグリップ部を正しく持ち、垂直に持ち上げる様に取り扱ってください。
7. 容器を切って使用する場合は、手を切る恐れがありますので保護手袋などを使用してください。
8. 本来の用途以外には使用しないでください。
9. 容器は中身を使い切ってから破棄してください。
10. 降雨や結露で表面がぬれている場合は、乾燥するまで塗装は避けてください。また、塗装後数時間以内に降雨や結露のおそれがある場合も塗装を避けてください。

緊急時及び応急処置

1. 容器からこぼれた場合には、砂などを散布した後処理してください。また、容器などに付着した塗料はウエスなどで拭き取り、破棄してください。
2. 皮膚に付着した場合は、多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化のあるときは医師の診察を受けてください。
3. 蒸気・ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
4. 目に入った場合は、多量の水で洗い、また誤って飲み込んだ場合は、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
5. 火災には、炭酸ガス・泡・粉末消火器を用いてください。

廃棄上の注意

1. 廃塗料・塗料カス・廃溶剤・容器などの廃棄物は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」などの定めに基づいた処理業者に委託してください。
2. スプレーダストや製品が付着したウエス、はけなどが蓄積すると自然発火の恐れがあるので破棄するまでは水につけておいてください。

詳細な内容が必要なときは、製品安全データシート(MSDS)をご覧ください。

特約店



本社	〒661-0001	尼崎市塚口本町二丁目41番1号	06-6421-6325(代)
営業所	仙台	024-959-4777	北日本 024-959-4777(代)
	東京	03-5661-1501(代)	金沢 076-231-1907
	浜松	053-412-1000	大阪 06-6421-6363(代)
	名古屋	052-501-8211(代)	広島 082-293-6868(代)
	九州	092-541-3461(代)	

ホームページアドレス

<http://www.kawakami-paint.co.jp/>